

公立大学法人
金沢美術工芸大学
会計監査人の選定に係る
企画提案募集要項

令和 6 年 1 月

金 沢 市

都市政策局金沢美術工芸大学建設事務所

地方独立行政法人法（平成15年法律第118号。以下「法」という。）第35条第1項及び第36条の規定に基づき、金沢市が設立した公立大学法人金沢美術工芸大学（以下「法人」という。）の令和6事業年度における会計監査人を選定するにあたり、企画提案を募集する。

1 業務の概要

- (1) 業務の名称
公立大学法人金沢美術工芸大会計監査人
- (2) 業務の内容
法第35条第1項の規定による法人の監査及びこれに付随する業務
- (3) 契約期間
契約締結の日から、法第34条第1項の規定に基づく金沢市長の承認の日までとする。
ただし、法第39条の規定による解任等の特段の事情がない限り、令和7事業年度及び令和8事業年度についても、再任する方針である。
- (4) 契約上限額
令和6年度初度監査費用 220万円（消費税及び地方消費税を含む。）
一事業年度あたりの通常監査費用 880万円（消費税及び地方消費税を含む。）
※ただし、本事業は令和6年度金沢市の予算成立を前提に実施されるものであるため、契約上限額は金沢市の予算の成立内容によって減額となる可能性がある。

2 企画提案の参加資格

次の要件をすべて満たすこと。

- (1) 公認会計士（公認会計士法（昭和23年法律第103号）第16条の2第1項に規定する外国公認会計士を含む。）又は監査法人であること。また、公認会計士法に基づき、財務諸表について監査をすることができない者でないこと。
- (2) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当しない者であること。
- (3) 金沢市内に事務所を設置している者であること。

3 企画提案の実施スケジュール

- (1) 質問の受付
本選定に関する質問を次のとおり受け付ける。
 - ① 質問方法
質問書（様式第1号）に質問事項を記載のうえ、9に定める提出場所に、電子メールにより提出すること。
 - ② 受付期間
令和6年2月6日（火）午後5時まで
 - ③ 質問に対する回答
受付期間内に提出された質問に対する回答は、質問者に直接回答するとともに、金沢美術工芸大学建設事務所ホームページに掲載する。
（URL）<https://www4.city.kanazawa.lg.jp/soshikikarasagasu/kanazawabijutsukogeidaigakukensetsujimusho/gyomuannai/1/1/25843.html>
- (2) 企画提案書等の提出
企画提案書等を次のとおり提出すること。

- ① 提案数
1者1提案とする。
- ② 提出書類の種類及び提出部数
ア 企画提案書 正本1部、副本3部、PDFデータ
イ 会社概要のパンフレット等(法人の名称(個人にあつては氏名)、代表者氏名、所在地、人員規模、資本金等が記載されたもの) 4部
- ③ 企画提案書の形式
ア 4に定める内容を記載し、企画提案書提出(様式第2号)を付けて、「企画提案書」として提出すること。
イ 大きさはA4版とし、表紙、裏表紙を含めて30ページ以内とする(様式第2号を除く。)。資料やイメージ図など、見やすくするためにA3版を使用する場合は、A4版の大きさを3ツ折すること。
ウ 専門的知識がない者にも分かりやすい表現で作成すること。
エ 法人の名称、法人のロゴ等、参加者を特定できる記述はしないこと。
オ 企画提案書に記載する金額は、消費税及び地方消費税を含めた金額で記載すること。
カ 企画提案書の作成に用いる言語、通貨及び単位は、日本語、日本円とすること。
- ④ 提出期限
令和6年2月20日(火)午後5時
- ⑤ 提出方法
9に定める提出場所に持参又は郵送すること。郵送の場合は、書留郵便その他到着を確認できる方法によることとし、提出期限内必着とする。

4 企画提案書記載事項

次に掲げる項目について記載し、表紙に企画提案書提出(様式第2号)を付けて、「企画提案書」として提出すること。

項目	記載内容
1 経営状況	(1) 別表1のとおり、設立年月日、資本金、主たる事務所の所在地、従業員数、監査会社数、経営状況を記載すること。 (2) 別表2のとおり、国内拠点の所在地や人員を記載すること。 (3) 過去3年間の処分等の状況を記載すること。 ①法人又は社員等に対する公認会計士法に基づく業務改善指示等がある場合は、その内容と対応 ②日本公認会計士協会が実施した品質管理レビューにおいて改善勧告があった場合は、その内容と対応
2 監査方針	(1) 公立大学法人金沢美術工芸大学を監査するにあたって重視する事項、監査に対する考え方を記載すること。 (2) 法人の理事・監事との連携について記載すること。
3 監査体制	(1) 別表3のとおり、監査担当予定の事務所の所在地や人員を記載すること。 (2) 別表4のとおり、監査担当予定の公認会計士について、監査の役割(監査責任者と監査補助者の別)や公立大学法人、国立大学法人、その他独法及びその他大学の監査実績を記載すること。

4 監査計画	(1) 監査実施スケジュールを記載すること。 (2) 監査業務に要する日数及び人員を記載すること。
5 監査方法	(1) 具体的な監査業務の内容を記載すること。 (2) 会計処理に関する指導・助言等の支援について記載すること。
6 提案事項 ・その他	(1) 適正な会計処理をするうえで、提言すべき事項やセールスポイントがあれば記載すること。(有料、無料の区分も明記すること。) (2) 社会貢献の取り組みなどあれば記載すること。
7 監査費用	(1) 見積費用及び算定内訳を記載すること(旅費等の必要経費は全て含むものとし、単価を入れて明記すること)。 (2) 執務予定日数を記載すること(延べ人数も明記すること)。 (3) 監査初年度のみ発生する初度監査費用と、一事業年度あたりの通常監査費用を分けて記載すること。 (4) 監査費用の上限は、初度監査費用220万円(税込)、一事業年度あたりの通常監査費用880万円(税込)とすること。 (5) 各年度の監査費用は以下のとおりとする。 ・令和6年度 初度監査費用及び通常監査費用 ・令和7・8年度 通常監査費用(再任の場合) (6) 見積額の考え方(監査日数等の見積費用算定内訳に変更が生じた際の対応方法含む)を記載すること。

5 選定方法

本企画提案に係る審査は、公立大学法人金沢美術工芸大会計監査人の選定に係る企画提案審査委員会にて、6に定める審査項目及び配点により、公正に審査して候補者を選定する(参加者が1者の場合でも、本要項に基づき審査する)。

企画提案書だけでは確認し難い内容がある場合には、問い合わせ等を行う場合があるので、その際は迅速かつ適切に対応すること。

6 審査項目及び配点

審査項目及び配点は次のとおりとする。

項目	配点
1 経営の状況	10点
2 監査方針	10点
3 監査体制	10点
4 監査計画	10点
5 監査方法	20点
6 提案事項・その他	10点
7 監査費用	30点
合計	100点

7 選定結果

選定の結果は、参加者全員に書面で通知するとともに、決定した候補者名を金沢美術工芸大学建設事務所ホームページに掲載する。

8 会計監査人の選定と契約

- (1) 候補者を選定後、企画提案書に記載された内容に基づき契約に係る協議を行い、合意に至った場合、会計監査人として選任する。(その際、企画提案書に記載された監査担当予定者、その他の内容は正当な理由なく変更することは認めない。)
- (2) 候補者が正当な理由なく契約を締結しないとき又は契約に係る協議が整わないときは、その選定を取り消すとともに、次順位の者を候補者として選定のうえ、契約に係る協議を行う。
- (3) 会計監査人を選任後、金沢市長が法人に対して会計監査人を選任した旨の通知を行い、法人が選定された会計監査人と監査契約を締結する。

9 提出場所等連絡先

- (郵便番号) 920-0942
(所在地) 金沢市小立野2丁目41番40号
(機関名) 金沢市都市政策局金沢美術工芸大学建設事務所
(電話番号) 076-220-2089(直通)
(FAX) 076-222-9210
(E-mail) bidaiken@city.kanazawa.lg.jp

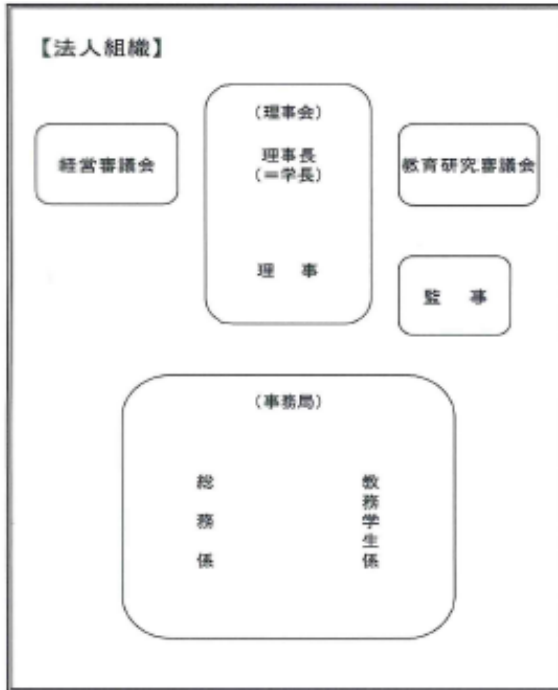
10 その他

- (1) 企画提案のための費用負担
提出書類の作成及び提出等、この企画提案に参加するために要する費用は、すべて参加者の負担とする。
- (2) 提出書類等の取扱い
提出された書類は、返却しない。
提出された書類の機密保持には、十分に配慮する。
提出された書類は、選定作業のため必要最小限の範囲内で複写することがある。
- (3) 企画提案の辞退
企画提案書提出後に企画提案を辞退する場合は、速やかに企画提案不参加表明書(様式第3号)を、9に定める提出場所に持参又は郵送すること。郵送の場合は、書留郵便その他到着を確認できる方法によること。

11 公立大学法人金沢美術工芸大学の概要(参考)

- (1) ホームページURL
<https://www.kanazawa-bidai.ac.jp/>
- (2) 教職員数(令和5年4月1日現在)
教員 57人
事務局職員 14人
- (3) 学生
学生数(令和5年4月1日現在)
学部学生 625人
大学院学生 95名

(4) 組織及び所在地



所在地 金沢市小立野2丁目40番1号

<別表1> 経営の状況

設立年月日(元号)						
資本金(百万円)						
主たる事務所の所在地(所在市町村名)						
直近3年間の従業員数	年度(元号)	代表社員数	公認会計士数		その他従業員数	
直近3年間の監査会社数	年度(元号)	公立大学法人	国立大学法人	その他独法	その他大学	その他企業等
直近3年間の経営状況(百万円)	年度(元号)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	

※ その他独法は、地方独立行政法人(大学除く)及び独立行政法人(大学除く)をいう。

<別表2> 国内拠点

事務所名	所在市町村名	代表社員数	公認会計士数	その他従業員数

<別表3> 監査担当予定の事務所

事務所名称	所在市町村名	代表社員数	公認会計士数	その他従業員数

<別表4> 監査担当予定の公認会計士

区分	氏名	所属事務所名	監査日数	監査区分	年度(元号)	監査を行った法人の名称

※ 区分には、監査責任者・監査補助者の別を記載すること。

※ 監査区分には、公立大学法人・国立大学法人・その他独法・その他大学の別を記載すること。

※ その他独法は、地方独立行政法人(大学除く)及び独立行政法人(大学除く)をいう。

<共通の注意事項> 行数は適宜追加し、列幅は適宜調整すること。